

【様式1】

概要書

研究名	簡易ハーネス検査機の開発
民間機関等 (相手方)の名称	株式会社 北陸東洋
研究の概要	<p>電子部品製造（ハーネス製作）の現場では、突発的に大口注文が入ると、不慣れな外注先に依頼することもあり、納品後の検査で発覚し手作業で修正を行うという悪循環も生じる。</p> <p>そこで、ハーネス導通検査のみに特化した低価格単機能「簡易ハーネス検査機」の外注先貸与を申請者は検討することにした。</p> <p>このような背景の下、平成30年より、試作のための事業内支援要請を申請者から受けてきたが、より使いやすい内容とするため、今回正式に共同研究としての支援申請を受けた。</p> <p>平成30年度までは、以下の制約があった。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 正常／エラーの区別が無く、エラーpin番号不明・ pinの対応は1対1しかなく、分岐を含んだハーネス未対応・ 対象ハーネスピン数14pin固定 <p>今回の共同研究で使いやすさと低価格化の両立を目指して、以下の項目を解決していった。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 利便性向上のための詳細エラー表示<ul style="list-style-type: none">(1) 7SegLED2桁によるエラーpin番号表示(2) ブザーパターンによるエラー種別提示（断線／交換／ショート）2. 正常ハーネスpin間の接続関係記憶3. 16pinまでの検査対象拡大とpin数の可変性4. 低価格化